

※※2018年2月改訂(第9版)  
※2014年8月改訂

## 複合抗生物質製剤

# テラマイシン® 軟膏

(ポリミキシンB含有)

**TERRAMYCIN® OINTMENT WITH POLYMYXIN B**  
(オキシテトラサイクリン塩酸塩・ポリミキシンB硫酸塩軟膏)

日本標準商品分類番号

872639

承認番号	13128KUZ05789008
薬価収載	1970年8月
販売開始	1956年11月
再評価結果	1980年8月

貯法：室温保存  
使用期限：外箱に表示の使用期限内に  
使用すること。

### [禁忌] (次の患者には投与しないこと)

テトラサイクリン系抗生物質、ポリミキシンB又は  
コリスチンに対し過敏症の既往歴のある患者

### [組成・性状]

#### 1. 組成

1g中、オキシテトラサイクリン塩酸塩 30mg(力  
価)、ポリミキシンB硫酸塩 10,000単位を含有す  
る。

添加物として、白色ワセリン、流動パラフィン含有  
する。

#### 2. 性状

黄色の軟膏である。

識別コード：YD714

### [効能・効果]

#### <適応菌種>

オキシテトラサイクリン/ポリミキシンB感性菌

#### <適応症>

表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、慢性膿皮症、外傷・  
熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染

### [用法・用量]

通常、1日1～数回直接患部に塗布又は塗擦するか、ある  
いは無菌ガーゼ等にのばして貼付する。なお、症状により  
適宜増減する。

#### (用法・用量に関連する使用上の注意)

本剤の投与にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐた  
め、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な  
最小限の期間の投与にとどめること。

### [使用上の注意]

#### 1. 重要な基本的注意

感作されるおそれがあるので、観察を十分に行い感作  
されたことを示す兆候(痒疹、発赤、腫脹、丘疹、小水疱  
等)があらわれた場合には投与を中止すること。

#### 2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確とな  
る調査を実施していない。

次のような副作用が認められた場合には、投与を中止  
すること。

	頻度不明
皮膚	発疹、接触性皮膚炎
菌交代症	オキシテトラサイクリン塩酸塩及びポリミキシンB硫 酸塩非感性菌による感染症

#### 3. 適用上の注意

眼科用に使用しないこと。

### [薬効薬理]

オキシテトラサイクリンは、*in vitro*においてグラム陽性  
菌、グラム陰性菌、スピロヘータ、リケッチア、クラミジア  
などの微生物に対し広い抗菌作用を示し<sup>1),2)</sup>、その作用は  
細菌の蛋白合成阻害による。

ポリミキシンBは、グラム陰性桿菌(特に緑膿菌)に優れた  
抗菌力を示し、殺菌的に作用する<sup>3)</sup>。

本剤はこれらの抗生物質を配合することにより、その抗菌  
スペクトルを広げ、これらの感性菌に起因する皮膚感染症  
の局所的治療並びに予防に奏効する。

### [有効成分に関する理化学的知見]

(1)一般名：オキシテトラサイクリン塩酸塩

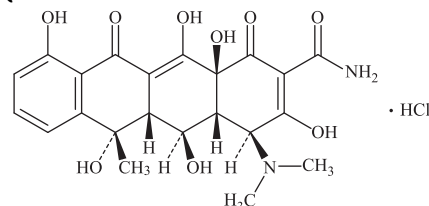
(Oxytetracycline Hydrochloride)

化学名：(4S,4aR,5S,5aR,6S,12aS)-4-  
Dimethylamino-3,5,6,10,12,12a-  
hexahydroxy-6-methyl-1,11-dioxo-  
1,4,4a,5,5a,6,11,12a-  
octahydrotetracene-2-carboxamide  
monohydrochloride

分子式：C<sub>22</sub>H<sub>24</sub>N<sub>2</sub>O<sub>9</sub>・HCl

分子量：496.89

構造式：



性状：黄色の結晶又は結晶性の粉末である。

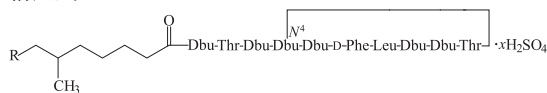
水に溶けやすく、エタノール(99.5)に溶けに  
くい。

(2)一般名：ポリミキシンB硫酸塩

(Polymixin B Sulfate)

分子式：C<sub>55-56</sub>H<sub>96-98</sub>N<sub>16</sub>O<sub>13</sub>・xH<sub>2</sub>SO<sub>4</sub>

構造式：



ポリミキシンB: R=CH<sub>3</sub> Dbu=

ポリミキシンB: R=H Dbu=

性状：白色の粉末である。

水に溶けやすく、エタノール(99.5)にほとん  
ど溶けない。

### [包装]

25g

[主要文献]

- 1) 山本郁夫ほか：Chemotherapy 16(1)：90, 1968
- 2) Hobby, G. L. et al.：Ann. N. Y. Acad. Sci.  
53：266, 1950
- 3) 中沢昭三ほか：Jpn. J. Antibiot. 25(1)：21, 1972

※※[文献請求先]

株式会社 陽進堂 お客様相談室  
富山県富山市婦中町萩島3697番地8号  
☎ 0120-647-734

製造販売元



®登録商標